

京都学園大学同窓会滋賀県支部タイムス

滋賀県支部

発行責任者：馬場 善和

①第6回滋賀県支部総会は平成21年7月13日!!

第6回支部総会は7月13日(日)恒例のホテルポストプラザ草津で毎回、同じ事を繰り返しているだけでは企画者も楽しくありませんので、あくまでもプランですが滋賀県色を出す抽選会を計画しています。毎年新卒の学生が沢山就職する平和堂の商品券、琵琶湖白ワイン(ホテル提供品)、龍尾祭の模擬店で販売した「滋賀県名産赤こんにゃく入りおでん」の赤こんにゃく、草津のあおばな茶、亀岡から「丹波七福米」の5品を景品にして滋賀県支部会員の参加増員を図りたいです。

ミニ講演会の講師はCheer21号(同窓会情報誌)の退職のお知らせで掲載されていた元経営学部教授の岡野圭壺先生に打診中です。岡野先生は34年間英語教育を担当された。私のクラブ(新聞部)の顧問で「学園大タイムス」ではお世話になりました。第2回(平成17年度)総会から継続して大学のキャリアサポートセンター課の「就職の現状と求人のお願い」でいつも滋賀県最新情報を重点的に教えて頂いていましたが、今回は入試課にお願いして「同窓会入試制度」を中心に説明して頂く予定です。

7月の総会までかなりの期間がありますので滋賀県支部役員の皆様とミーティングして楽しく、有意義な滋賀県支部総会にする為、活発な意見交換をして滋賀県支部総会に行って良かったと言って頂ける様な第6回滋賀県支部総会を目指します。



[岡野先生] [あおばな茶] [赤こんにゃく] [びわこワイン] [丹波七福米]

②五番目の北陸支部が11月3日に設立総会!!

2004年に設立した滋賀県支部から、九州支部、東海支部、中国支部そして5番目の北陸支部(富山、石川、福井)会員数は約800名(住所判明者)です。11月3日ANAクラウンプラザホテル金沢の2階多目的ホール「セラヴィ」で設立総会が実施されます。

バイオ環境学部長の關谷次郎教授のミニ講演会、亀岡市民新聞社記者で常任同窓会理事の竹内博士さんから「亀岡最新情報」のスピーチ、大学キャリアサポート職員さんから「就職の現状と求人のお願い」のお話後、北陸支部会員の紹介、記念写真撮影、閉会の挨拶でお開きになります。北陸地方にご友人がおられましたら「同窓会北陸支部総会が11/3にあるの知っているか?」とお声をかけて頂ければ幸いです。北陸支部の次は四国支部?

同窓会滋賀県支部

【編集後記】

龍尾祭でいつも気になる事があります。第12回龍尾祭だったので、今年は記念すべき第40回ですので28年前になりますが……。現在は緑色ナイロン製の龍尾祭スタッフジャンパーですが、私が龍尾祭実行委員の時は真っ赤な法被でした。左襟に京都学園大学、右襟に龍尾祭実行委員会の黒襟に白色文字で、背中の真ん中には「龍」のPOP調明朝体の白一字で前に正方形な箱型を重ねたデザインを私が発案して大阪の井池で単価5千円13着購入しました。同窓会コミュニケーション誌のCHEERの創刊号で第16回龍尾祭実行委員長野越由久さんが着られる法被が正に思い出に残る法被です。(もし現在も使用されていたらデザイン料頂けたかも……。)この法被、私は学生時代の思い出に実費で作成したから、記念に自宅で管理しようと考えていたのですが、一人の龍尾祭実行委員が「どうせダンスに入れとくだけなら代々続く龍尾祭の後輩のスタッフ法被として受け継がれた方が価値がある」と発言があった。全員一致でクラブBOXに13着残して卒業した思い出があります。今になってみてベストだったと確信しています。最後に同窓会滋賀県支部タイムス9号の情報が京都学園大学同窓会皆様の「つながり」に貢献できれば嬉しく思います。

同窓会
3
大
ニ
ュ
ー
ス

③米田貞一郎名誉教授「白寿」お祝いの会



平成20年9月20日(土)京都プライトンホテルで米田先生が白寿をお迎えになりましたので同窓会名誉会員でおられる米田先生を同窓会役員でお祝いさせていただきます。

米田先生は昭和9年京都帝国大学文学部史学科を卒業。堀川高校長、昭和44年に開学した京都学園大学に赴任。昭和61年退職後も京都コンピュータ学院の校長を務められるなど98歳の今も元気にご活躍されておられます。同窓会設立30周年記念講義時に米田先生は老境とは人生の本当の余禄。年齢よりも、健康と意欲を保ち続けることが大切。先生の老化防止法は①弱音をはく②クヨクヨする③泣き言いう④うしろを向く⑤大勢の中に関わる⑥運動をし太陽にふれる⑦閉じこもらず人と話す⑧聞くだけでなく意見を出して頭を鍛える⑨よく食べよく出す⑩足を知って自然に生きる等を提言されました。

私は教職課程を履修していないのでそれ程、お世話になっていませんが、歴史学(旧215教室)で90分間フル活用の黒板にキツリ書かれ、いつもノートに写すだけで大変でした。授業の最後に今日のことわざ、熟語のお話がありました。例えば、流石(さすが)読み方と意味をご丁寧に講義終了のチャイムが鳴っても熱心に説明されていた印象が強いです。

五年程前、学友会所属の学生と卒業生(同窓会役員)の懇親会の席でお話する機会があり、講義の最後の熟語の事話したことを今でも覚えています。米田先生は「同窓会の役員されている人は自信が有る人で大学時代、クラブ(学友会含む)活動を一生懸命した人か、それとも、社会的地位の高い仕事をされているかどうかです。」と言いつかれた言葉が印象に残っています。

私は前者であります……。
米田先生、白寿おめでとうございます。いつまでもお元気で……

年齢	名称	理由
60歳	還暦(カンキ)	干支が60年で一回りするため
70歳	古希(コキ)	杜甫の人生七十、古来稀より
77歳	喜寿(キジュ)	喜の略字が七十七と分解できるから
80歳	傘寿(サンジュ)	傘の略字が八十と分解できるため
88歳	米寿(ベイジュ)	米の文字が八十八と分解できるため
90歳	卒寿(ソツジュ)	卒の略字(卒)が九十と分解できるため
99歳	白寿(ハクジュ)	百の字から一をとると白になるから
100歳	百寿(モモジュ)	1世紀=100年から

*還暦は満年齢、それ以外は数え年で祝うのが一般的です。